

# 第4学年 総合的な学習の時間指導案

指導者 鈴木雅幸

## I 単元名 盛岡人の大好物「とうふ」から見る盛岡

## II 単元の指導構想

<p>1 本校の指導目標</p> <p>身近な地域や自然，人や文化に興味・関心をもち，人や自然，事象とのかかわり方を深めながら，自ら課題を追究し続け，地域への愛着を深め，自己の学びのよさや生き方を見つめる。</p>	
<p>2 教材（題材）について</p> <p>本単元は、「とうふ」について調べる活動を中心に展開する。盛岡市は，とうふの消費量が何年も日本一であったこともあり，親しみのある食品の一つである。また，仁王小学校の子どもたちにとっても身近で，学区内のおとうふ屋さんが移動販売車で販売している様子を目にすることも多々ある。子どもたちにとって当たり前の存在であるとうふが，実は盛岡に大変ゆかりのある食材であり，それに携わる人々の思いや願いがこもっていることを探究活動を通して考えていくことができる。そのような学習を進めることで，盛岡を大切にしていこうとする盛岡市民の一人としての思いをもたせるために有効な教材であると考え。</p>	<p>3 子どもについて</p> <p>本学年の子どもは，第3学年の総合的な学習の時間で，「人」に焦点を当て学習を進めてきた。昔のおやつや遊びについて，図書資料やインターネットを使って調べたり，地域のお年寄りにインタビューしたり，実際に体験したりしながら情報を収集した。そして，集めた情報を友だちや教えてくれたお年寄りに分かり易く伝えようと，新聞や，紙芝居，劇などにまとめて交流し，お年寄りの素晴らしさや，これからのかかわり方などを考えることができた。</p> <p>子どもたちは，自ら課題を発見して，解決するために多様な方法で情報収集し，様々な形にまとめることができるようになってきている。しかし，「整理・分析」の段階で，互いの考えを伝えあい，よりよい見方・考え方を見出すまでには至っていない。</p>
<p>4 復興教育（3つの教育的価値）との関連</p> <p>【かかわる】⑬地域づくり</p> <p>盛岡市民の一員として，伝統文化を守ろうとする願いをもち，生き生きとしたまちづくりにかかわる。</p>	

## III 単元の指導計画

### 1 目標

- 盛岡の人にとってなじみ深い「とうふ」について調べたり，「とうふ」を作って食べたりする活動を通して，「とうふ」に対する盛岡の人の思いや工夫について関心をもつ。
- 地域の伝統文化を守り伝える人とのふれあいを通して，心のつながりを図り，自分達も地域にかかわり，地域を大切にしていこうとする心情や態度を養う。

### 2 単元で育てようとする資質や能力及び態度

#### 【学習方法に関すること】

- ア 問題状況の中から課題を発見し，設定する。
- イ 問題状況における事実や関係を把握し理解する。
- ウ 相手や目的に応じて，分かりやすくまとめ，表現する。

【自分自身に関すること】

エ 自らの生活の在り方を見直し、実践する

【他者や社会とのかかわりに関すること】

オ 異なる意見や他者の考えを受け入れる。

3 単元の評価規準

観点	学習方法		自分自身	他者や社会とのかかわり
	課題設定	思考・分析	自己理解	他者理解
単元の評価規準	<p>① イメージマップを使って、とうふの消費量が多い原因について予想し、課題を設定している。【ア】</p> <p>② とうふとの出会いから、地域の一員であることを自覚し、行動しようとしている。【オ】</p>	<p>① グループで調べた情報をもとに、盛岡の豆腐の消費量が多い理由を見出している。【イ】</p> <p>② 友達の考えや詳しい方の話を聞いたこと、本やインターネットなどで調べたりして得た情報の中から必要な情報を選び出し、とうふの良さを広める活動に取り組んでいる。【イ、ウ】</p>	<p>① とうふを調べたり作ったりする活動を通して、自分の頑張りや考えの変化に気付いたり、盛岡にゆかりのある食品としてのとうふに興味をもっている。【エ】</p> <p>② 盛岡市民の一員として、とうふのよさを広める方法を考え活動をしている。【エ】</p>	<p>① とうふ調べを通して生じた様々な問題を解決するために、他の友達や詳しい方などの考えや意見を積極的に取り入れている。【オ】</p> <p>② とうふのよさを広めるために、他の友達や詳しい方の考えやアドバイスを参考にしている。【オ】</p>

4 指導計画（全40時間）

課＝課題設定，思＝思考・分析，自＝自己理解，他＝他者理解

小単元	時	学習活動	評価規準及び評価方法
第1次 どうしてとうふをたくさん食べるの？	2	<p>○ 盛岡市のとうふの消費量やとうふにまつわる地蔵についての資料を見て、課題を設定する。</p> <p>全体課題</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">盛岡の人々ととうふの関係について調べよう。</p> <p>課題1</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">盛岡の人々は どうしてこんなにとうふを食べるのだろう。</p> <p>○ 課題に対する予想を立てる。</p> <p>・おいしいから ・安いから ・大豆がたくさん採れるから ・栄養があるから ・大切なものとされてきたから等</p>	<p>課① 制作物による評価 (イメージマップ図)</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>研究の手立て1</b></p> <p>集めた情報を可視化し、どの情報が盛岡のとうふの消費量の多さにつながっているか考える。</p> <p><b>研究の手立て2</b></p> <p>可視化された情報を操作しながら、盛岡のとうふの消費量にかかわりの深い情報や今後の探究の方向性について話し合う。</p> </div>
		1	
	5	<p>○ 課題解決に向けて情報を収集する。</p>	
	1	<p>○ 各グループで調べた情報を交流し、探究の方向性を見直す。</p>	

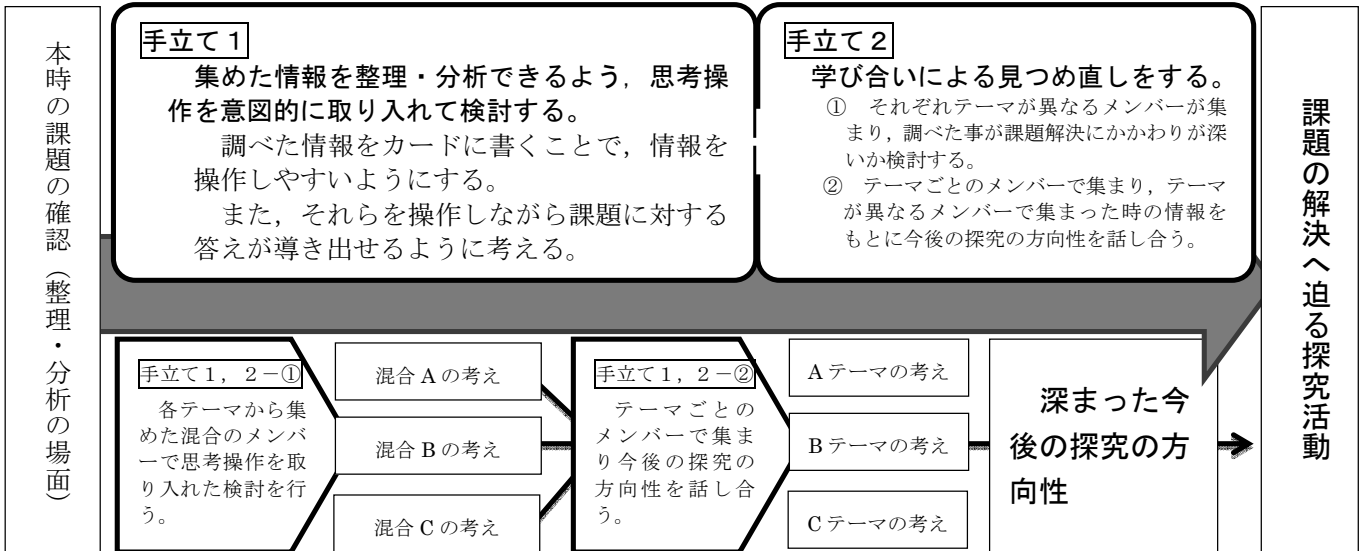
第2次 自分で もとうふ を作って みよう	3	○ 課題解決に向けて情報を収集する。	思①	観察や制作物による評価 (行動観察・ノート)
	3	○ 調べたものを整理し、グループ毎にまとめる。		
	2	○ 各グループでまとめたものを交流し、盛岡でとうふの消費量が多い理由をとらえる。		
	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">おとうふを自分たちで作ろう。</div> ○ 自分達でも実際にとうふを作ってみるためにとうふ作りの計画を立てる。 ・ 図書資料 ・ インターネット ・ 詳しい方へのインタビュー	他①	観察や制作物による評価 (行動観察, ノート)
	3	○ とうふ工場でとうふの作り方を調べる。		
	2	○ とうふを実際に作って食べる。		
	1	○ とうふ作りについて, 振り返る。		
第3次 盛岡に もつと とうふを 広める ため	1	○ 子どもたちの気付きをもとに課題を設定する。 課題2 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">携わっている人はどんな工夫や努力をして, どんな思いや願いをもっているのだろう。</div>	課②	制作物による評価 (ノート)
	3	○ 実地調査の計画を立てる。 ○ 実地調査を行う。	他②	観察による評価 (行動観察)
	3	○ 調べた事を交流する準備を行う ○ 交流して, 携わっている方々の工夫や努力, 思いや願いについてまとめる。 <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <b>研究の手立て2</b>  可視化された情報を操作しながら, とうふに携わる方々の思いや願いの共通点を話し合う。 </div>		
	7	○ 自分達もとうふのよさを知ってもらう活動を考え実践する。 ・ チラシ, 新聞作り ・ おいしい食べ方の提案	思②	制作物による評価 (チラシ, 新聞, レシピ)
	2	○ 学んだことをふり返り, 今後自分がどのようにとうふや盛岡とかかわっていくか考える。	自②	制作物による評価 (ノート)

**研究の手立て1**

各グループで集めたとうふ携わる方の思いや願いのを可視化し, 情報を操作する。

#### IV 本時の指導構想

「対象への見方・考え方を深め、自分の生活や生き方に結び付けて物事をとらえる子どもが育つ授業」  
 ～協同的な学びの中で見つめ直しを大切にした学習活動を通して～



#### V 本時の指導計画

##### 1 目標

各グループで調べた情報を交流し、探究の方向性を見直すことができる。

##### 2 評価規準

ねらいを達成している児童の姿	努力を要する児童への支援	評価方法
<b>【思考・分析】</b> 各グループから発表された情報をもとに、これからの探究の方向性を見出している。	消費量が多い理由となっている結果はどれか、特にも盛岡だけで言えることはどれか、視点を与えて考えさせる。	行動や制作物による評価 (行動観察, ノート)

3 展 開

段階	学習内容 (○) と予想される子どもの反応 (・)	時間	○支援 ◎研究にかかわる手立て	◇ 準備 ◆ 評価
導入	<p>○ 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今のところ調べた事をちがうグループの友達と交流しよう。</p> </div> <p>○ 本時の流れと交流の仕方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;"> <p>交流の仕方</p> </div> <p>① 一人ずつ、自分のグループで調べた事を発表し、そのカードを中央に置く。</p> <p>② 発表が終わったら、盛岡のとうふの消費量が多い理由となっているものほど同心円チャートの中央に置く。</p>	5	<p>○ 前時までに調べた情報をカードに書いておく。</p> <p>○ 本時の課題や活動の流れを確認する。</p> <p>○ 消費量が多さに何がかわっているか、同心円チャートを使って話し合うことや、使い方を確認する。</p>	◇ 自分のグループで調べた内容が書いてあるカード
展開	<p>○ 盛岡のとうふの消費量が多い理由を調べた事を交流する。</p> <p>(1) テーマが別々の友達と交流する。</p> <p>    テーマ A「とうふそのもの」</p> <p>    テーマ B「とうふの製造」</p> <p>    テーマ C「とうふの料理」</p> <p>    テーマ D「とうふの原料 (大豆)」</p> <p>    テーマ E「とうふの歴史」</p> <p>    テーマ F「とうふの PR」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とうふは栄養があつておいしいけど盛岡に限ったことではないから関係は深くないと思う。</li> <li>・ PR をしているが盛岡ブランドや、とふちが出てくる前から 1 位だったから PR だけのおかげとは言えないが、最近も 1 位ということには少しはかかわっている。</li> <li>・ いろいろな料理に使えるけれど、盛岡に限ったことではない。</li> <li>・ 江戸時代に盛岡に職人が来て流行らせたことは、他の地域よりもうとうふを身近に感じていることにつながる。</li> <li>・ きれいな地下水があることは、盛岡に関係がある。 等</li> </ul> <p>(2) 自分が調べているテーマの友達と交流す</p>	30	<p>◎ 手立て 1 同心円チャートを使い、とうふの消費量が多い理由を検討する。特に関係が深い理由を中心に置く。</p> <p>◎ 手立て 2 - ① とうふの消費量の多い理由について、テーマが別々の友達と交流する場を設定する。</p> <p>○ 理由を考える際、どこの市でもいえることなく、<b>盛岡市のとうふの消費量の多さに関係が深い理由か</b>という視点で考える。</p> <p>◎ 手立て 2 - ②</p>	<p>◇ グループ用の同心円チャート</p> <p>◇ 掲示用の同心円チャート枠</p>

	<p>る。</p> <p>テーマが別々の友達と交流したことをもとにしながら、自分達のテーマがこれからどんなことを調べていけばよいか、どんなことに気を付けてまとめていけばよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 盛岡のとうふだけが栄養あるかはわからないので、他の地域のとうふについても調べよう。</li> <li>・ PR は、今の消費量の多さにかかわらずありそうだから、どんな PR をしているかもっと調べよう。</li> <li>・ 特に盛岡のとうふは寄せどうふだから、寄せどうふについて詳しく調べよう。</li> <li>・ 昔から身近だからよく食べられていそう。昔はどのくらいとうふ屋さんがあったのか調べるのもよさそう。</li> </ul>		<p>テーマが別々の友達と交流したことをもとに、自分が調べているテーマの友達と今後の調査活動やまとめの内容を検討する。</p> <p>○ テーマが別々の友達と話し合った際、自分の意見が同心円チャートのどのあたりに置かれたか実際に置いて今後の方向性を検討する。</p>	<p>◆ 各グループから発表された情報をもとに、これからの探究の方向性を見出している。</p>
<p>終末</p>	<p>3 本時の振り返りをする。</p> <p>(1) ノートに振り返りを書く。</p> <p>(2) ふり返りを交流する。</p>	<p>10</p>	<p>○ 次の視点で学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流して分かったこと。</li> <li>・ 自分のテーマでもっと詳しく調べたいと思ったこと。</li> </ul>	<p>◇ ノート</p>